

地方公共団体における人権教育事業の実施状況に関する調査研究
事例調査票

様式2

(財)人権教育啓発推進センター

実施自治体・担当課（連絡先）	神戸市教育委員会 社会教育部 住之江公民館 電話： 078-822-1300
----------------	---

1. 概要

事業名	三歳児を持つ親との子の教室
主催(共催)	神戸市立住之江公民館
実施年月日・実績等 *回数・参加人数・作成部数等	平成16年2月4日(金) 9:30~11:30 参加人数 20名
開催場所	神戸市立住之江公民館 学習室
対象	三歳児を持つ親との子の教室受講生
人権課題	人権全般

2. 事業内容

<p>(1)事業の目的</p> <p>三歳児の親と子の教室は、三歳児を持つ親を対象に、親子分離の学習講座である。近年は、仲間作りに力点が置かれており、教育問題から人権学習、社会見学、趣味カルチャーなど多岐にわたっている。人権感覚の醸成ということを主眼においている。これから、親として子どもを育てていくにあたって、人権感覚は必須のものである。そのなかで、「差別」事象についてはとくに、親として言動に気をつけるべきである。そのような差別は元を正せば、人為的に作られているものである。差別形成の過程を科学的に知ることにより人権感覚を身につけ、差別のない社会を具現化する一助とすることを目的としている。</p>

<p>(2)事業概要</p> <p>アメリカでの人権の研究授業「青い目茶色い目」を鑑賞。感想を皆で話し合い、差別が人為的であることを気づくように仕掛けた。</p>
<p>(2)-1 連携状況</p> <p>特になし</p>
<p>(2)-2 特色・工夫した点(広報の方法も含む)</p> <p>単に座学ではなく、皆に考えてもらえるように、少人数の集団で話し合い、その意見を発表してもらえるよう工夫した。</p>
<p>(3)-1 反省点・今後の課題</p> <p>特になし。</p>